

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月30日

上場会社名 株式会社ホットランド 上場取引所 東
 コード番号 3196 URL http://www.hotland.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐瀬 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 武藤 靖 TEL 03 (3553)8885
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	7,474	△6.8	442	△11.1	1,246	122.0	794	199.5
2020年12月期第1四半期	8,019	△3.6	497	△14.3	561	1.7	265	△21.3

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 1,215百万円 (172.1%) 2020年12月期第1四半期 446百万円 (10.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円
2021年12月期第1四半期	36.93	36.72
2020年12月期第1四半期	12.34	12.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	19,100	7,753	38.1	337.94
2020年12月期	18,166	6,534	33.6	283.72

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 7,275百万円 2020年12月期 6,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,200	12.1	1,360	20.1	1,320	9.6	370	—	17.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	21,529,600株	2020年12月期	21,519,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	－株	2020年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	21,522,756株	2020年12月期 1 Q	21,508,708株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大が依然として収まらず、国内の経済は厳しい状況が続きました。2021年1月には再度の緊急事態宣言が発令され、また、その期限が延長されるなど、感染症の収束時期が見通せず、先行き不透明な状態でありました。

このような状況下、当社グループでは、主力ブランドの「築地銀だこ」事業を中心に、収益チャネル・収益構造の多層化を図る取り組みを推進してまいりました。

築地銀だこ事業においては、3月の創業日に合わせた『創業祭』キャンペーンなどの販売促進や、期間限定の新商品投入などに取り組みました。また、外出自粛等への対応のため、デリバリーサービスの拡充に取り組み、デリバリーサービス導入店舗数は3月末現在では137店舗となり、今後も導入店舗数を拡大させていく予定です。一方で、コロナ感染拡大を避けるため毎年恒例の福袋販売を昨年12月から先行発売を実施したことから、当第1四半期連結累計期間における既存店売上高前年比は89.9%となりました。

店舗展開においては、テイクアウト需要の増加も踏まえて主力の築地銀だこの出店を積極的に行いました。当第1四半期連結累計期間においては6店舗出店し、4月には5店舗の出店を予定しております。また、昨年出店したロードサイド型の3店舗の売上はいずれも好調に推移しております。4月には伊勢崎ドライブスルー店と船橋ドライブイン店をオープンし、5月にもドライブイン店舗のオープンを予定しており、第2四半期以降もロードサイド型店舗の積極的な出店を進めてまいります。

酒場業態においては、テイクアウト売上比率の高い店舗モデルである「銀だこ酒場」を中心に展開してまいります。当モデルは住宅立地への出店を基本戦略としており、3月には銀だこ酒場大和駅前店をオープンいたしました。また、「銀だこ大衆酒場」から「銀だこ酒場」への改装にも順次取り組んでおります。

製販事業においては、大手コンビニエンスストア向けを中心に、冷凍たこ焼の販売数量が伸長するなど、好調に推移しております。

海外事業では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による諸規制の影響が大きく、引き続き厳しい状況となりました。一方で、香港・台湾においては直営店舗は営業黒字を維持しており、香港では家賃下落等の外部環境の変化を商機と捉え、積極的な出店を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7,474百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益は442百万円(前年同期比11.1%減)となりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金及び為替予約の時価評価による為替差益等の計上により、経常利益は1,246百万円(前年同期比122.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は794百万円(前年同期比199.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して933百万円増加し、19,100百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が1,472百万円、固定資産が228百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1,128百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して284百万円減少し、11,347百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が282百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1,218百万円増加し、7,753百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が794百万円、繰延ヘッジ損益が370百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年2月15日付「2020年12月期 決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

新型コロナウイルス感染症の当社グループの連結業績に与える影響について、当第1四半期連結会計期間においては、日本国内における緊急事態宣言等の発令、海外諸国における都市封鎖措置や移動制限などの状況下において、一部に営業時間の短縮や店舗の閉店などの影響は残るものの、テイクアウト商品の販売拡大やロードサイド型店舗の出店を始めとして、主力ブランドの「築地銀だこ」事業を中心に収益チャネル・収益構造の多層化を図ることで、新型コロナウイルス感染症による影響への対応を進めております。

このような状況を総合的に勘案して、2021年2月15日に発表いたしました通期の業績予想の変更はしていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,181,904	3,654,614
受取手形及び売掛金	2,618,068	1,489,689
たな卸資産	2,628,680	2,325,647
その他	873,682	1,530,800
貸倒引当金	△51,360	△44,507
流動資産合計	8,250,975	8,956,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,391,934	4,382,899
その他(純額)	1,308,686	1,339,915
有形固定資産合計	5,700,621	5,722,814
無形固定資産		
のれん	423,250	412,398
その他	157,413	141,326
無形固定資産合計	580,664	553,724
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,398,570	2,396,693
その他	1,242,258	1,477,359
貸倒引当金	△6,261	△6,261
投資その他の資産合計	3,634,567	3,867,791
固定資産合計	9,915,853	10,144,329
資産合計	18,166,828	19,100,572
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,072,412	970,665
短期借入金	1,324,030	1,355,745
1年内返済予定の長期借入金	1,121,794	1,125,949
未払金	1,381,098	1,234,165
未払法人税等	88,582	233,222
賞与引当金	70,338	143,115
資産除去債務	58,539	35,952
その他	1,237,157	1,298,508
流動負債合計	6,353,952	6,397,323
固定負債		
長期借入金	3,853,930	3,571,795
資産除去債務	628,192	624,831
退職給付に係る負債	67,153	68,120
その他	728,726	685,317
固定負債合計	5,278,002	4,950,064
負債合計	11,631,955	11,347,388

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,296,099	3,297,324
資本剰余金	3,184,975	3,186,200
利益剰余金	△459,482	335,425
株主資本合計	6,021,592	6,818,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△546	96
繰延ヘッジ損益	102,242	472,786
為替換算調整勘定	△10,915	△9,894
退職給付に係る調整累計額	△6,710	△6,290
その他の包括利益累計額合計	84,069	456,699
非支配株主持分	429,210	477,534
純資産合計	6,534,873	7,753,184
負債純資産合計	18,166,828	19,100,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,019,635	7,474,079
売上原価	3,071,932	2,930,020
売上総利益	4,947,702	4,544,058
販売費及び一般管理費	4,450,479	4,101,815
営業利益	497,222	442,242
営業外収益		
受取利息及び配当金	334	544
補助金収入	—	600,778
為替差益	67,177	198,325
その他	11,139	15,812
営業外収益合計	78,651	815,460
営業外費用		
支払利息	7,117	9,060
支払手数料	2,351	2,512
貸倒引当金繰入額	2,500	—
その他	2,594	92
営業外費用合計	14,563	11,665
経常利益	561,310	1,246,037
特別利益		
受取補償金	4,390	—
特別利益合計	4,390	—
特別損失		
固定資産除却損	42,250	10,221
店舗整理損失	63,802	32,910
減損損失	3,345	12,826
特別損失合計	109,399	55,958
税金等調整前四半期純利益	456,301	1,190,079
法人税、住民税及び事業税	72,568	207,109
法人税等調整額	97,173	162,261
法人税等合計	169,742	369,370
四半期純利益	286,558	820,709
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,109	25,801
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,449	794,907

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	286,558	820,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	643
為替換算調整勘定	9,363	23,543
退職給付に係る調整額	354	420
繰延ヘッジ損益	150,720	370,544
その他の包括利益合計	160,287	395,151
四半期包括利益	446,846	1,215,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	422,662	1,167,536
非支配株主に係る四半期包括利益	24,184	48,324

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社間の合併)

当社の連結子会社である株式会社ギンダコスピリッツは、2021年4月1日付で当社の連結子会社である株式会社アイテムを吸収合併いたしました。

1. 企業結合の概要

①結合当事企業の名称及び事業の内容

i. 結合企業

名称：株式会社ギンダコスピリッツ(当社の100%子会社)

事業の内容：銀だこ酒場業態等の展開

ii. 被結合企業

名称：株式会社アイテム(当社の100%子会社)

事業の内容：鉄板焼・お好み焼専門店「ごっつい」の展開

②企業結合日

2021年4月1日

③企業結合の法的形式

株式会社ギンダコスピリッツを存続会社とする吸収合併方式であり、株式会社アイテムは合併により消滅いたしました。

④結合後企業の名称

株式会社ギンダコスピリッツ

⑤その他取引の概要に関する事項

当社グループにおける事業再編の一環として、連結子会社間の経営資源の集中と組織運営の強化及び効率化並びに収益の向上を図ることを目的として、連結子会社間の吸収合併を行いました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響)

政府より2021年4月23日に発令された緊急事態宣言及び各自治体からの外出自粛要請、並びにこれらを踏まえた当社及び当社グループにおける一部店舗の臨時休業や営業時間短縮など、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響に関して不透明な状況が続いております。

当該影響により、当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があります。当該影響額については、発表日現在において算定中であります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。